

少雨 乾燥に関する営農技術対策

平成 15年 6月 11 日
農政部農業改良課

北海道地方は5月中旬以降、雨の少ない状態が続いています。平成 15年 6月 6日 札幌管区气象台発表の「少雨に関する北海道地方気象情報第 1号」により、今後も高気圧に覆われて晴れる日が多く、雨の少ない状態は今後 1週間程度続く見込みです。少雨 乾燥時の条件下では、次の点に留意する。

少雨に関する北海道地方気象情報 第 1号

平成 15年 6月 6日 13時 30分 札幌管区气象台発表

(見出し)

北海道地方は5月中旬以降雨の少ない状態が続いています。雨の少ない状態は今後 1週間程度続く見込みですので、農作物の管理に注意して下さい。

(本文)

北海道地方は5月中旬以降雨の少ない状態が続いています。5月 31日から6月 1日にかけての雨で少雨を解消した地域もありますが、東部や南西部の一部では雨の少ない状態が続いています。

北海道地方は今後も高気圧に覆われて晴れる日が多く、今後 1週間程度はまとまった雨は降らないと予想されます。地元气象台や測候所の発表する気象情報に留意し、農作物の管理に注意して下さい。

5月 11日から6月 5日までの降水量と平年比

地点名	降水量 (mm)	平年比 (%)	地点名	降水量 (mm)	平年比 (%)
札幌	30.0	70	小樽	26.5	60
倶知安	17.0	31	寿都	14.0	28
網走	18.0	32	紋別	34.0	59
雄武	31.0	55	帯広	12.0	17
広尾	16.0	12	釧路	49.0	49
根室	28.5	31	室蘭	12.0	15
苫小牧	37.5	40	函館	6.5	11
江差	8.5	13			

少雨 乾燥条件下での共通対策

砂地や石礫の多いほ場では、作物の生育が進むにつれて、土壌乾燥の影響を受け易くなることから、かん水施設のあるところでは、適正水分に近づけるようかん水を行う。

1 畑 作

(1)中 耕

中耕は、土壤水分の蒸散を防ぐため、7～8cm以内の浅めの中耕とし、毛管水上昇を遮断させ水分蒸散を少なくさせる。

また、最終の中耕は、根切断により各作物へのダメージが大きくなるように遅れず実施する。

(2)防 除

乾燥時は、アブラムシや食葉性害虫の発生が予想されるので、農作物病虫害防除基準「除草剤使用基準」により、適期防除を行う。

また、薬害を出さないため、日中高温時の農薬の散布は避け、気温の低下する朝方か夕方に行う。

2 野 菜

(1)たまねぎ

土壤水分を必要とする時期(移植後約10日間)は過ぎているが、葉のしおれや黄化、枯れ込みが進んでいる場合はかん水を行う。しかし、過剰なかん水は、根張りが悪くなって干ばつ害を受けやすくなるので、かん水量は少なめ(5mm)とする。

(2)ねぎ

比較的浅根性なので定植期や生育期の乾燥時にはかん水の効果が高いとされているが、湿害にも弱いのでかん水量はと10～20mmとして過剰なかん水とならないように注意する。

(3)露地野菜

キャベツ、はくさい、レタスなどのセル成型苗は定植時に根鉢を露出させず、鎮圧をしっかり行う。

かん水は、キャベツ、はくさいなど葉茎菜類では、保水性の劣る土壤で乾燥条件が続くとカルシウム欠乏症などの生理障害が発生する。キャベツで10～20mm、はくさいで10～30mmを目安で行う。根菜類では、だいこん、ごぼうでは「播種～発芽前」に、にんじんでは「播種～本葉2葉期まで」に土壤が乾いたら1回10～20mmのかん水を行う。

また、露地アスパラガスにおいても、かん水による増収効果は高いことから、可能な限りかん水を行う(かん水量の試験データはないが、10～20mmを目安とする)。

(4)各種野菜のマルチ栽培

耕起後ただちにマルチを設置して土壤中の水分を確保する。

(5)防 除

乾燥に高温条件が重なるとハダニなどの害虫の増殖率が高まることが予想されるので、発生状況に注意し農作物病虫害防除基準「除草剤使用基準」により、適期防除に努める。

3 花 き

露地越年花きのきくゆり、りんどう、草花類などでは、乾燥条件が続くと保水性の劣る土壤で、伸長不良やカルシウム欠乏症などの障害が発生しやすいので可能な限りかん水する。

また、敷きわらなどの粗大有機物やフィルムを利用したマルチ被覆を行い、土壤からの水分蒸散を抑制する。

これから定植する露地花きの苗定植においては、乾燥の影響を受け易いので根鉢の露出を避けるように定植して鎮圧を行い、できれば株元かん水やマルチを行って活着を助ける。

4 飼料作物

(1)放牧地

過度の放牧は、再生不良の原因となるので、適正な草丈で退牧させる。

また、放牧時は乾物摂取量が不足しがちなので、採食草量を把握し、補助粗飼料を給与する。

退牧時の適正な草丈

草 種 名	草 丈
ペレニアルライグラス・オーチャードグラス	7 ~ 10 cm
チモシー	10 ~ 20 cm

(2)採草地

a 全道的に少雨・乾燥傾向であり、牧草の草丈は短い、生育ステージは確実に進んでいるので、刈り遅れがないよう注意する。

b 1番草刈り取り後は適期に施肥し、チモシー主体草地の施肥適期は1番草刈り取り後、5日から10日前後の目安で行う。

c オーチャードグラス主体草地の2番草は植物体の老化速度が早く、病気にかかった葉の増加等により採食性が低下するので40日から45日以内に収穫を行う。刈り取り後は適正量を施肥し採食性の良い3番草の確保に努める。